

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	宮崎港マリーナ施設宮崎県サンビーチーツ葉
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指標	R3	R2	R1	増減理由等
年間利用者数(人)	216,800	211,800	228,800	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による8/12以降の海水浴場閉鎖が影響し、海水浴期間のサンビーチーツ葉利用者が大きく減少した。
海水浴期間のサンビーチーツ葉利用者数(人)	37,000	51,000	40,100	
コメント	コロナ禍において、企業・団体主催の大型イベント中止や規模縮小により、利用者数が減少している。一方で、それらのイベント参加者数を除いた公園の一般利用者は増加傾向にある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R3	R2	R1	支出	R3	R2	R1
指定管理料	103,412	101,924	100,741	人件費	51,642	52,735	48,294
利用促進事業収入	54,939	38,554	42,984	需用費、役務費	13,131	11,489	11,028
自主事業収入	1,948	4,722	3,240	委託料・使用料等	23,253	24,412	25,298
				一般管理費	10,341	10,192	10,074
				利用促進事業支出	59,340	50,166	53,416
				自主事業支出	2,441	5,343	2,894
合計①	160,299	145,200	146,965	合計②	160,148	154,337	151,004
収支差額①-②	151	-9,137	-4,039				
コメント	利用促進事業として飲食物を提供しているビーチバーガーハウス事業収入増により、トータルの収支がプラスに転じた。						

3 管理運営状況

※下線部分は令和3年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(毎日実施)
	保守・点検	クレーン・クルーザー・ブル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警備	夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修繕	電気系統修繕、トイレ修繕、ビーチ施設等修繕、上下架施設修繕、漏水修理等
	備品等管理	備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策	パトロールの実施(毎日)、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、マリーナ航路情報の周知、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施
	その他	釣り禁止区域への侵入者や夜間の不審者への指導と警察への速やかな通報の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	施設の年中無休化・開園時間延長の継続、サンビーチーツ葉シャワー室の通年利用化、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、マリーナ利用者への「利用者の手引き」の配布
	イベント等ソフト面充実	マリーナ・ビーチにおける自主事業の実施(フリーマーケット、親子つり大会、ヨガ教室、クリーン大作戦、バベキューグッズレンタル、命の丘教室等)の実施。(中止した事業:サンマリーナ乗船体験会、ディンギーヨット体験教室、ジュニアライフセービング教室、地引き網体験会)
	施設設備等ハード面充実	ミスト・スプリンクラー設置(海水浴期間中)、無料休憩施設の開設、通年営業、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリンセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
	その他	赤ちゃんの駅への登録
管理運営体制	利用者へ安心して安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。	
コメント	維持修繕、津波避難訓練の実施、夜間常駐警備、マリーナ航路情報の周知など適切な管理業務に努めている。サービス面においても開園時間延長や無料休憩施設の通年営業によるサービス提供を継続的に行うとともに新たにサンビーチーツ葉シャワー室の通年利用化に取り組むなど利便性向上に寄与している。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(公園ポスト、イベント時のアンケート、意見延べ245件)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
施設の維持・修繕・故障に関する要望	苦情のあった施設修繕には早急に対応している。
イベントに関する要望	今後のイベントに活かせるものは反映させる。
施設充実に関する要望	要望のあった遊具等の増設を行った。

5 総合評価

評価コメント	海水浴場の閉鎖(8/12～)や施設の利用休止など、県の方針に基づきコロナ感染防止対策に的確に対応するとともに、利用者への周知、説明等により混乱なく適切に運営が行われていた。また感染防止対策を徹底した上で「サンドフラワーフェスタ」を開催し、コロナ禍においても利用者が安全安心に来園できるイベントを実施するなど、利用者増に向けた取組も評価できる。
今後の課題と対応	施設の老朽化が進んできており、更なる施設の安全点検の徹底や迅速な維持修繕が求められる。また、年間を通じた利用促進について、更なる工夫・充実を図っていく必要がある。